

【 概 要 】

**平成23年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【民間住宅ローン利用者編】（第3回）****1. 調査の概要**

調査対象期間(平成23年11月～平成24年2月)に民間住宅ローンを借入された方を対象とし、利用された住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(2/13～2/29)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:657件。

2. 調査結果の主なポイント**(1) 「変動型」利用割合は51.4%に減少**

- ・「変動型」は、今回の調査対象期間(平成23年11月から平成24年2月)を通しての利用割合が51.4%(前回調査:52.7%)に減少している。
- ・「全期間固定型」の利用割合は、今回の調査対象期間を通しての割合が21.3%(前回調査:19.7%)に増加している。<p2>

(2) 今後1年間の住宅ローン金利見通しは「現状よりも上昇する」が小幅増加

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しについては、「現状よりも上昇する」が18.3%(前回調査:17.3%)と小幅増加し、「ほとんど変わらない」が65.9%(前回調査:68.3%)と小幅減少している。<p9>

(3) 住宅ローン選択の決め手は、圧倒的に“金利の低さ”

- ・住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」とする回答が69.6%と圧倒的に多い。次いで、「繰上返済手数料が安かったこと」「住宅・販売事業者(営業マン等)に勧められたから」の順となっている状況に変化はない。<p14>